

05
2009

履歴書

氏名		性別	
生年月日		年齢	
学歴	職歴	資格	その他
自己PR			



いえしま ライフワーカー

仕事に「追われる」毎日

僕らが生活している都市部ではどれだけ幸せな仕事ができているだろうか。満員電車で揺られて定時までに職場に直行。効率化が最優先された職場環境で会社の業績のために業務を遂行。味気のないオフィスビルの中で時間に追われながら深夜まで残業。終電を逃せばカプセルホテルやネットカフェで朝まで仮眠。ビジネスライクで本音と建前の探りあいの人

間関係。毎日が出世競争で疲労困憊。キャッチコピーは「年収〇〇万円以上」。労働者は会社の歯車。ストレスを抱えて離職者は増加。インターネットには転職支援サイトが氾濫。ここでの仕事の価値基準は収入だけ。「仕事をするこの価値」ってそれだけなのだろうか？



無機質な職場



時間に追われながら働く



夜遅くまで残業



ビジネスホテルで宿泊



ネットカフェで仮眠



ビジネスライクな人間関係



満員電車で出勤



味気ないオフィスビル



時間管理された職場



疲労困憊



会社の歯車ノルマ達成を目指す



求人情報の閲覧

地下鉄梅田駅すぐ
正 〇〇銀行 窓口
¥20万円（月給）+ 交通費支給
時間：9:00～18:00
待遇：福利厚生
休日：土曜、日曜
社内一丸となって明るい職場作りを目指しています。職歴不問、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇銀行 電話 (06) 0000-0000
所在地：大阪市〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

JR東京駅 徒歩10分
正 〇〇商事 事務
¥32万円（月給）+ 交通費支給
時間：9:00～18:00
待遇：福利厚生
休日：土曜、日曜
あなたの能力に見合った給料をお支払いします。職歴不問、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇商事 電話 (03) 0000-0000
所在地：東京都〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

JR名古屋駅すぐ
正 〇〇放送 受付
¥19万円（月給）+ 交通費支給
時間：9:00～18:00
待遇：福利厚生
休日：土曜、日曜
やりがいのある仕事です。職歴不問、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇放送 電話 (048) 000-0000
所在地：名古屋市中〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

羽田空港 徒歩20分
正 〇〇整備工場 事務
¥16万円（月給）+ 交通費支給
時間：9:00～18:00
待遇：制服支給、福利厚生
休日：水曜
大変な仕事ですが、とてもやりがいがある仕事です。経験者優遇、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇整備工場 電話 (03) 0000-0000
所在地：東京都〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

岡山県庁庁舎近く
正 〇〇カフェ フロアスタッフ
¥20万円（月給）+ 交通費支給
時間：9:00～18:00
待遇：福利厚生
休日：日曜
明るい仲間があなたを待っています。職歴不問、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇カフェ 電話 (068) 000-0000
所在地：岡山市〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

下関港 高速船で30分
正 〇〇造船 乗務員
¥45万円（月給）+ 交通費支給
時間：9:00～18:00
待遇：福利厚生
休日：不定休（要相談）
高収入をお約束。職歴不問、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇造船 電話 (022) 000-0000
所在地：下関市〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

地下鉄新日本橋駅 徒歩20分
正 〇〇工業 人事担当
¥20.5万円（月給）+ 交通費支給
時間：9:00～18:00
待遇：福利厚生
休日：要相談
あなたの経験を活かしてみませんか。契約社員から正社員への登用あり。職歴不問、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇工業 電話 (03) 0000-0000
所在地：東京都〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

JR高松駅からバスで20分
正 〇〇電鉄 整備士
¥20万円（月給）+ 交通費支給
時間：10:00～22:00
待遇：福利厚生
休日：土曜、日曜
要背免許。昇給あり。女性の方も大歓迎。職歴不問、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇電鉄 電話 (088) 000-0000
所在地：高松市〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

JR仙台駅 徒歩2分
正 〇〇レストラン 調理場
¥20万円（月給）+ 交通費支給
時間：9:00～21:00
待遇：福利厚生、まかない付
休日：要相談
未経験者歓迎。研修もあります。職歴不問、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇レストラン 電話 (022) 000-0000
所在地：仙台市〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

JR新潟駅すぐ
正 〇〇印刷 営業
¥25万円（月給）+ 交通費支給
時間：9:00～18:00
待遇：福利厚生
休日：要相談
ライター、写真家なんでもOK。職歴不問、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇印刷 電話 0120-000-0000
所在地：新潟市〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

地下鉄住之江駅徒歩10分
正 〇〇デザイン事務所
¥20万円（月給）+ 交通費支給
時間：9:00～18:00
待遇：福利厚生
休日：土曜、日曜
クリエイティブなお仕事です。興味がある方は是非当社へ見学に来てください。経験者優遇、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇デザイン 電話 (06) 0000-0000
所在地：大阪市〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

JR札幌駅すぐ
正 〇〇書店 販売スタッフ
¥14万円（月給）+ 交通費支給
時間：9:00～18:00
待遇：福利厚生
休日：土曜、日曜
職歴不問、まずはお気軽にご連絡ください。
〇〇書店 電話 (066) 000-0000
所在地：札幌市〇〇区〇〇〇〇〇〇〇〇〇

いえしまの職場を取材した

いえしまには都市部とは異なる生活の風景がある。いえしまで生活する人たちはどのように日々の仕事と向き合っているのだろうか。今回、僕らはいえしまの人たちの「職場」におじゃまして働いている様子を取材させてもらうことになった。仕事に対する様々な思いなどをインタビューしながら、職場の風景や仕事に従事している様子をカメラで撮影させてもらった。



職場を紹介するポスターを作製した

4 僕らは取材結果をもとに、それぞれの職場を紹介するポスターを製作した。2泊3日のいえしま滞在中で、2人一組で職場を2ヶ所ずつ取材してそれぞれのポスターを作るという強行スケジュール。寝る間を惜しんで、講師のアドバイスを受けながら写真の選定作業やキャッチコピーの検討を行い、パソコンでのレイアウト作業や出力を行なった。完成したポスターは20枚。それぞれのポスターを眺めていると、僕らはいえしまの職場には大きく5つのキーワードがあるのではないかと感じた。



職場の「5つ」のキーワード



誇り



たのしみ



ふれあい



こだわり



愛情

仕事は誇り



家島の経済を支えてきたこと、一つの仕事を長年積み重ねてきたこと、自分の人生経験を伝えること、「自分の島」を強く意識していること。いえしまの仕事には誇りがある。

仕事はたのしみ



仕事はふれあい



6



7

新しいことにチャレンジすること、自分のペースでやること、お客さんの喜ぶ顔を見ること、作業の後の充実感に浸ること。いえしまの仕事にはたのしみがある。

いえしまを訪れた人と、いえしまに住んでいる人と、地域の子供たちと、いえしまで頑張っている人たちと。いえしまの仕事にはふれあいがある。

仕事はこだわり



お客さんへのサービスに対して、おいしさに対して、技術に対して、鮮度や品質に対して。いえしまの仕事にはこだわりがある。

仕事は愛情



いえしまの歴史に対して、いえしまで宿泊する人に対して、ふるさとであるいえしまに対して、いえしまで生活する人たちに対して。いえしまの仕事には愛情がある。

港でポスター展を開催した



働く人のポスター展を開催



島民の方々への発表会



いえしまの人たちとの意見交換

今回、僕らは完成したポスターの展示発表会を開催することにした。真浦港の高速船乗り場の待合室に20枚のポスターを展示して島の人たちに向けて発表を行なった。発表会には取材を受けてくれた方々をはじめ、たくさんの島の人たちが来場してくれた。ポスターを作成した2人一組のチームで順番にプレゼンテーションを行った。いえしまの仕事場について取材の中で感じたことや気づいたこと、携わる方々の想いや仕事に対するスタンスについて感動したこと、僕らが生活している都市部での仕事場との違いなどの発表内容について、いえしまの人たちは真剣に聞いてくれた。発表後の意見交換では、「いえしま仕事場に対する見方が新鮮で楽しかった」、「一枚のポスターにそれぞれの仕事の蓄積や想いがよく表現されている」といった島の方々からの意見をいただくことができた。また、会場内のポスターを誇らしげに見つめる島の方々の姿もあった。これから就職活動を控えるメンバーが多い僕らにとっても、今回の取材やポスター作製、展示発表会を通じて「仕事」について考える本当に貴重な体験となった。このポスター展示会はこの発表会の後も一週間開催し、口コミで多くの島の方々に見に来ていただくことができた。展示会を見学に来た旅館を経営されている方などから、これらのポスターをぜひ展示したいという申し出が来るほどの反響だった。

仕事と島の人の暮らしが近いこと

いえしまの仕事場には「誇り」や「たのしみ」、「ふれあい」、「こだわり」、「愛情」がある。これらのキーワードは都市部の仕事ではなかなか手に入れないものかもしれない。いえしまの仕事場は、それぞれが島の生活と近い距離にあることが大きな特徴だ。だからそれぞれの仕事場では、いえしまに住んでいる人、あるいはいえしまを訪れる人の顔が直接見える関係にある。運搬船の修理、漁業、八百屋、鮮魚店、宿泊施設、教育機関など、自分の仕事が無くなれば、これらの「顔の見える人たち」の多くのが非常に困るということが実感できることが大きな意味を持っているのかもしれない。また、いえしまではほとんどの人が顔見知りなので、店先や道端、船着場など島の至る所で自然と会話が生まれる。仕事の合間にも楽しい交流が始まる。僕らのような来訪者も受け入れてくれて話の輪がさらに広がる。いえしまでは仕事の延長線上に付き合いがあり、付き合いの延長線上にも仕事がある。僕らがいえしまの人たちと接して感じたことは、皆さん気さくでフレンドリーなことである。相手を楽しませることが大好きで、同時に自分自身も大いに楽しむ。このようなコミュニケーション能力の高さは、これからのいえしまの新たな観光において大きな武器になると思った。生活と密着した自分たちの仕事について伝えることは、いえしまの生活文化も伝えることにもなる。



ざるを持って魚の買い物



仕事終わりに船の上で談笑



船着場で井戸端会議

「自分たちのやり方」があること



独特の仕事場

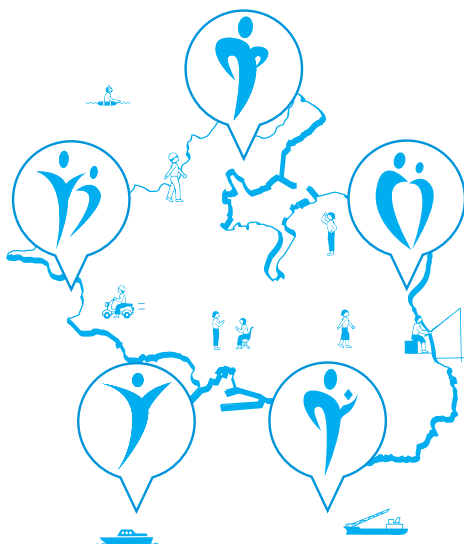


こだわりの仕事道具



熟練の仕事の業

いえしまの人たちは、それぞれの仕事場で「自分たちのやり方」を持っている。仕事の中に趣味を取り入れること、本物にこだわること、何でも自分たちで工夫すること、臨機応変に作業をすること、新しいことにチャレンジすること、とことん楽しむこと、自分たちでルールを決めること。仕事に対するいえしまの人たちの姿勢はとてもしっかりと、これからのいえしまのまちづくりにも通じることだと思った。一人ではできないことは一人でやる、一人で難しいことは何人かで協力してやる、大勢でなくてはできないことはみんなで力を合わせてやる。いえしまではそんな形で徐々にまちづくりが進められていくのだろうと思った。仕事場で見られた「誇り」や「たのしみ」、「ふれあい」、「こだわり」、「愛情」はまちづくりにおいても大事なキーワードになっていくのだろう。



「いえしまライフワーカー」によるまちづくり

生活に根ざした価値を実感できる島へ

「探られる島」プロジェクト2009は、平成21年の秋に家島地区での2泊3日のフィールドワークと大阪での3日間の会議を合わせた計6日間のワークショップ企画である。全国から多様な専門分野を持つ若者が「いえしまの仕事場を探る」をテーマに取材を行い、ポスターを製作するとともに展示発表会を実施した。また、参加メンバーで一つのコンセプトに沿って冊子をまとめた。それがこの「探られる島」プロジェクトブック05だ。プロジェクトの中では「今後のいえしま」についてもみんなで話し合った。僕らが今回の取組を通じて気づいたことは、いえしまの仕事場は島の人たちの生活と密接した魅力的な場所であり、都市部ではなかなか得ることができない価値を実感できる場であることだった。だからいえしまでは、今後むやみに都市化された無機質な仕事環境を整備する必要はない、と僕らは考えている。島に訪れた人たちとの交流の中で、いえしまの仕事の価値を発信し、生活に根ざしたその魅力を伝えていってほしいと思う。今回で5回目となった「探られる島」プロジェクトは一旦の区切りを迎えることになった。生活観がこじみ出た屋外空間、刺激的な産業の風景、衝撃的なおもてなし、お金を使わずに楽しめる海辺、そして様々な価値を実感できる仕事場。僕らがこの5年間のフィールドワークの結果から議論・考察した内容は、いえしまの一面を捉えているに過ぎないのかもしれない。いえしまにはまだまだ隠された魅力があるはずだ。だから僕らは新しい仲間を連れて、またいつか、いえしまを探りに訪れたいと思う。



家島本島に上陸



ポスター製作における講師からのレクチャー



いえしまの人たちとのお別れ

いえしま

兵庫県姫路市家島町は、姫路港の沖合い約18kmに位置している。東西26.7km・南北18.5kmにわたって散在する大小40余りの島々で、瀬戸内海国立公園特有の美しい多島海の景観を織りなしている。今回のプロジェクトで探る対象となった島は、姫路港から高速船で約30分の家島本島である。真浦地区は海運業の基地が中心であり、ガット船と呼ばれる岩石を運搬する船が

停泊する独特の風景を作り出している。また、いえしまは豊かな漁場としても有名であり、宮地区の海辺は多くの漁船が停泊する漁港となっている。本プロジェクトでは家島(家島本島)と家島群島との混同を避けるため、家島本島を漢字で「家島」、家島群島全体をひらがなで「いえしま」と使い分けて表記している。



真浦地区



宮地区

「探られる島」プロジェクトFINAL

メンバー

青木 日登美 / 青山 貴行 / 生出 淑子 / 落合 裕美 / 塩津 依公子 / 小代 祐輝 / 川崎 修良 / 川島 史 / 桑子 周造 / 三枝 峻宏 / 塩津 依公子 / 正田 実知彦 / 仲尾 千枝 / 永野 裕貴 / 南 美帆 / 桃野 紀子 / 山本 一道 / 横井 仁美 / 吉村 大希

アドバイザー

オオニシ タクヤ / 加藤 文俊 / 木村 健世 / 山崎 亮

「探られる島」プロジェクト実行委員会

岩本 陽子 / 小島 雅也 / 高島 一彰 / 中村 有作 / 福田 悦子 / 山下 芳正
井上 博晶 / 神庭 慎次 / 曾根田 香 / 醍醐 孝典 / 檀上 祐樹 / 長生 大作 / 西上 ありさ

主催 「探られる島」プロジェクト実行委員会

共催 慶応義塾大学 加藤研究室

協力 魅力あるいえしまをつくろう会 / studio-S / studio-L / 家島観光事業組合 / NPO法人いえしま / 家島漁業組合 / 大阪産業大学 / NPO法人環境デザイン・エキスパーツ・ネットワーク

「探られる島」プロジェクトブック 05

2010年3月21日発行

発行 studio-S

テキスト 醍醐 孝典

デザイン 神庭 慎次

編集 「探られる島」プロジェクト2009メンバー / studio-S

印刷 株式会社グラフィック

本誌に関するお問い合わせは info@studio-l.org

※本誌掲載の写真、記事の無断転載はお断りします。

<http://www.npo-eden.jp/studio-s/>

「探られる島」プロジェクト

